

特116

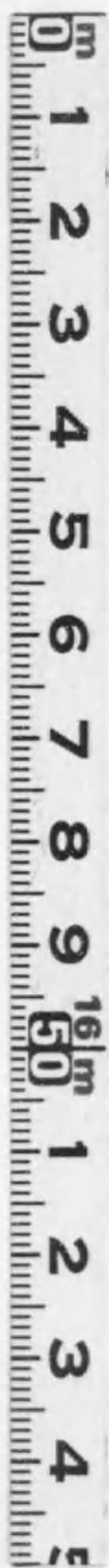
717

地拍子附
大小太鼓
笛手配附

百

萬

内十六ノ四



始



特116
717

三月ワキ男
シテ狂女百萬
子方百萬の子

百萬

四番目

内十六卷ノ四

次第 出ノ囃子 次第

半声	竹	上音	一 拍
子	馬	馬	二 拍
こ	に	に	三 拍
そ	い	い	四 拍
の	ぎ	ぎ	五 拍
そ	や	や	六 拍
も	の	の	七 拍
を	り	り	八 拍
た	の	の	
づ	み	み	
ー	ち	ち	
ウ	ち	ち	
ね	ち	ち	
エ	ち	ち	
し	ち	ち	

止メ打切

15. 6. 21
内交

地取

大小鼓はアシライを打つ(コイ合)

ヲキ

詞 此れは和州三吉野の者にてゆ。又これにわ

●車之鼓
●振今
●仁舞

たりゆ切き人は。南都西大寺のあたりにて拾ひ申してゆ。この頃は嵯峨の大念佛にてゆ程に。この切き人を連れ申し念佛に参らばやと存じ候
あら悪の念佛の拍子やば。わらは音頭をとりゆべし

狂言シカジカ 大小鼓、太鼓アシライ打つ

カール	一	二	三	四	五	六	七	八			
渡り拍子	南	ア	無	阿	ア	孫	陀	ア	ン	佛	ウ
カール	上音	用カニ									
南	一	ア	無	阿	ア	孫	陀	ア	ン	佛	ウ

南	一	ア	無	阿	ア	孫	陀	ア	ン	佛	ウ
南	一	ア	無	阿	ア	孫	陀	ア	ン	佛	ウ
南	一	ア	無	阿	ア	孫	陀	ア	ン	佛	ウ

地	一	二	三	四	五	六	七	八			
南	一	ア	無	阿	ア	孫	陀	ア	ン	佛	ウ
南	一	ア	無	阿	ア	孫	陀	ア	ン	佛	ウ
南	一	ア	無	阿	ア	孫	陀	ア	ン	佛	ウ

地	一	二	三	四	五	六	七	八			
ひ	一	ア	無	阿	ア	孫	陀	ア	ン	佛	ウ
ひ	一	ア	無	阿	ア	孫	陀	ア	ン	佛	ウ
ひ	一	ア	無	阿	ア	孫	陀	ア	ン	佛	ウ

も	一	二	三	四	五	六	七	八			
も	一	ア	無	阿	ア	孫	陀	ア	ン	佛	ウ
も	一	ア	無	阿	ア	孫	陀	ア	ン	佛	ウ
も	一	ア	無	阿	ア	孫	陀	ア	ン	佛	ウ

百高

七

(平)

切

ト
地 た
か
は
ア
た
の
ま
ざ
ア

ろ
た
れ
か
た
の
ま
ざ
る
べ
き
イ
ー

シテ
これかや春の物狂
地
乱れ心か意草の

切

切

切

切

切

シテ
ち
イ
か
ら
ア
ぐ
る
ー
ま

に
イ
な
ア
ー
ト
ぐ
る
ー
ま

地
積
む
と
し
も
ー
盡
ー
き
ー
じ

シテ
お
も
く
と
か
ア
引
ー
け

(地)

切

切

切

切

切

切

切

エ
や
え
い
さ
ア
ら
ア
ー
え
ー
い
さ

と
ら
い
ち
度
ラ
に
ー
た
ー
の

ラ
む
ウ
弥
イ
陀
ー
の
ー
ち
か
か
ー
ら

ア
ー
た
の
め
ー
や
ア
ー
た
の
め

エ
ー
南
無
阿
弥
陀
佛
ア
ー
世
世
ご
と
の

ヤ
ー
上
歌
地
げ
に
か
ー
世
世
ご
と
の

お
や
子
の
み
ち
に
ー
ま
と
は
り
ー
て

● 延之段
● 獨吟
● 仕舞

(高音)

一 拍
二 拍
三 拍
四 拍
五 拍
六 拍
七 拍
八 拍

(イ合)

おやの子のみにまよはりて。

(ツケ)

なほこのやみを晴れやらぬウ

(ヨイ合)

ろうげのうすぐもりイ

(カケ四)

地 かづかほい住める世にな

(ズケ)

ハアハアはさんがいのくびかせかや

下リ

ハアハアはさんがいのくびかせかや

(和)

イのラまのラとこさほに

(地ノカ)

トイづくをきしで孫かアるら

(ハシケ)

んえエいさアらッえエいさア

(ヨイ合)

シテ 引けや引けやこのくるまア

(ツケ)

地 もの見ななりイ

(ヨイ合)

シテ げにひくまさんがすがたは

(ツケ)

地 もよりのながきくろかみを

(ヤトリ)

シテ おろぞろのトリ

一拍 二拍 三拍 四拍 五拍 六拍 七拍 八拍

一 拍
二 拍
三 拍
四 拍
五 拍
六 拍
七 拍
八 拍

(片地)

(マケ)

(ヨイ合)

(下リ)

(和)

(ヨイ合)

(マケ)

のーどーとくみだーアーしーて

地 香ーりーたーるー鳥 骨 子ー引 ぎ 加 づ ぎ ま

たーまーゆ 根ーぐーろ ぎーみ だ れ ず ぬ い

(マケ) ー ー ー 地 づーつートリ

しーこーろ 加 安 村 ー ぎ ー ー ー ー ー

カ ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

地 かーか ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

あきごころも

(ヨイ合)

(マケ)

(三ツ)

(和)

(オウ)

(オウ)

(オウ)

(オウ)

シテ おーや 子 ー の ー ち ー ぎ ー ー ー ー ー ー ー ー ー ー

地 か ー た ー を ー む ー す ー ん ー で ー す ー そ ー へ ー さ ー ー ー

げ ー

を ー む ー

地 ー

地 ー

ら ー

百

五

(廿一)
一 拍
二 拍
三 拍
四 拍
五 拍
六 拍
七 拍
八 拍
シテ
南無やだ聖釈迦如来。我が子に遇はせ狂
氣をもとどめ。安穩に守らせ給ひゆへ
が子に遇はんためなり。
わ

南無やだ聖釈迦如来。我が子に遇はせ狂
氣をもとどめ。安穩に守らせ給ひゆへ

子方 詞 如何に申すべき事のゆ 何事にてゆぞ

これなる物狂をよくよく見ゆへば。故郷の
母にて御入りゆ。恐れながらよその様に

て。問うてははりゆへ 詞 これは思ひもよらぬ

事を承りゆものかな。やがて問うて来らせ
うずるにてゆ。いかにこれなる狂女。たことの

國里はいづくの者ぞ 詞 関カニ これは奈良の都に
百萬と申す者にてゆ 詞 ウキテ それは何故か様

に狂人とはなりたるぞ 詞 シテ 夫には死して別
れ。唯一人ある忘形見のみどり子に生きて

離れての程に。思が乱れてのワキ。さて今も子
 と云ふ者のあらば、嫉しかるべきか。仰せ
 までもなし。それ故にこそ、亂髪ガミの遠近人
 に面を晒すも。若しも我が子に廻りや逢
 ふと。車カールに法ハフの聲コエ立てて。念佛ニホフ申し身を
 碎クダき。我が子に逢はんと祈ノリるなり。カールカールげに痛
 はしき御事かな。眞信心マコトシン稀ヒなくは。かほど

群集グンシツのその中ナカに。などかは廻り逢はざらん
 詞シテ嫉カウツテしき人の言察コトサツかな。それにつきても身を
 碎クダき。法ホフ樂ラクの舞マヒを舞マヒふべきなり。離ヒしてた
 べや。人ぐよ。悉シツくもこのお佛ハツも。羅睺ラク為ニ長チヤウ

子と説トき給トへば

次第地シヤイヂ

我が子ワガコトリ

には
 一
 あ
 う
 鳴ナリの
 ぞ
 で
 な
 れ
 や

新ニ

百

七

(コイ合)

半声 (カキム)

おや子あう鳩のヲそでなれやひ
 くまんがアンーまひをー見たまへエ

地取

大小鼓はアシライを打つ(コイ合) ヲキなし小鼓よりノル

シテ 百や鳥の舞の袖 地 我が子の行方祈らな

リ

彩

止メ打上合从

クシテ げにやれもんみれば。何處そても住めば宿。
 地 住まぬ時には故郷もなし。この世はそも

●獨吟
サレモ
サレモ
サレモ
サレモ
切まで

何處の程ぞや 身雀枝の深きに集まる。地 げに世の中はあ
 だ彼の寄るべは何處雲水の。身の果いか
 に橋の葉の楳の露の故郷に 憂き年
 胎を送りしに。地 きしも二世とかけー中の契
 の末は花鬘。結びもとめぬあだ夢の永き
 涙となり果てて 比目の枕。一まき波の

地 衾はかなき 祭かな
ナキ 祭 かな
ナキ 祭 かな

●仕舞
(トトリ)

(ヨイ合)

(ヨイ合)

(ヨイ合)

(ヨイ合)

(ヨイ合)

クセ
●
奈良
ざか
の
トリ

兒の手がしはのふたおもて

とにものかしくはにものねぢけびと

のなまんだこす

そでののしがるみひまなまきは

おもひかきなるるしなみの

おもひかきなるるしなみの

(ワケ)

(ワケ)

(和)

(ワケ)

(ワケ)

(ワケ)

(ワケ)

(ワケ)

ながらるるつきのかかげ惜しき

のほらてららののやなぎかげみ

おのゆるくかしらつゆの

子のゆかくしらつゆの

のゆかくしらつゆの

おのゆるくかしらつゆの

おのゆるくかしらつゆの

おのゆるくかしらつゆの

スニ合目
時日
寺田なる

(スニ合)
(スニ合)
(スニ合)
(スニ合)
(スニ合)
(スニ合)
(スニ合)

おのゆるくかしらつゆの

百鳥

九

一拍 二拍 三拍 四拍 五拍 六拍 七拍 八拍

(三拍)

(三拍)

(三拍)

(三拍)

(三拍)

(三拍)

(三拍)

(三拍)

(三拍)

(三拍)

(三拍)

(三拍)

(三拍)

(三拍)

紫 ず ぶ ぶ の つ ち か あ を に よ し

奈 良 の み や こ を ち ち 出 で で

佐 保 の か は へ り 三 か き や ま

て エ や ま し ろ に 井 手 の さ と

た た ア マ 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

一拍 二拍 三拍 四拍 五拍 六拍 七拍 八拍

(三拍)

(三拍)

(三拍)

(三拍)

(三拍)

(三拍)

(三拍)

紫 ず ぶ ぶ の つ ち か あ を に よ し

奈 良 の み や こ を ち ち 出 で で

佐 保 の か は へ り 三 か き や ま

て エ や ま し ろ に 井 手 の さ と

た た ア マ 五 一 五 一 五 一 五 一 五 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

お も か げ げ 一 一 一 一 一 一 一 一

(下リ)

アノチ

上端

トリ

(和)

アノチ

ホ

トリ

(ヨイ合)

地

アノチ

ホ

トリ

(下リ)

アノチ

ホ

トリ

(及ニ)

アノチ

ホ

トリ

(下リ)

アノチ

ホ

トリ

(下リ)

アノチ

ホ

トリ

(ツケ)

アノチ

ホ

トリ

(ツケ)

アノチ

ホ

トリ

(ツケ)

アノチ

ホ

トリ

(ツケ)

アノチ

ホ

トリ

(ツケ)

アノチ

ホ

トリ

(ツケ)

アノチ

ホ

トリ

(ツケ)

アノチ

ホ

トリ

(ツケ)

アノチ

ホ

トリ

一 拍

二 拍

三 拍

四 拍

五 拍

六 拍

七 拍

八 拍

九 拍

一 拍

二 拍

三 拍

四 拍

五 拍

六 拍

七 拍

八 拍

九 拍

一 拍

二 拍

三 拍

四 拍

五 拍

六 拍

七 拍

八 拍

九 拍

百

十一

(ヨイ合)
(三拍)

(ツケ)
(ツケ)

(ヨイ合)
(三拍)

(ツケ)
(ツケ)

(カケ切)
(ヤケ)

(ツケ)
(ツケ)

(チカケ)
(チカケ)

一 拍
二 拍
三 拍
四 拍
五 拍
六 拍
七 拍
八 拍

み	わ	ン	ま	か	た	+
ち	れ	+	を	た	だ	。
あ	等	。	す	じ	こ	か
き	ご	ニ	ほ	け	の	れ
ら	と	ぶ	お	な	て	よ
め	き	つ	そ	く	ら	り
ん	の	の	れ	も	ぞ	も
あ	ま	ち	な	か	あ	こ
る	よ	う	れ	か	り	れ
じ	ひ	げ	ぞ	る	が	よ
と	あ	ん	も	身	た	り
で	る	+	ヲ	に	ま	か
エ	。	シ	+	。	。	。

(タム込)
(タム込)

(チ送)
(チ送)

(ツツレ)
(ツツレ)

(ヨイ合)
(三拍)

(下リ)
(下リ)

(ツケ)
(ツケ)

(ツケ)
(ツケ)

一 拍
二 拍
三 拍
四 拍
五 拍
六 拍
七 拍
八 拍

+	が	い	+	+	+
て	て	い	+	+	+
ん	じ	せ	+	+	+
ち	ん	ん	+	+	+
く	ス	ん	+	+	+
震	ま	の	+	+	+
だ	を	。	+	+	+
ん	を	。	+	+	+
我	げ	そ	+	+	+
が	ん	ん	+	+	+
て	じ	よ	+	+	+
う	て	う	+	+	+
さ	。	や	+	+	+
+	+	+	+	+	+

百
高

中(カ)に(イ)な(カ)ど(イ)や(カ)我(カ)が(イ)子(カ)の(イ)な(カ)ま(カ)き(イ)や(カ)ら(イ)ん(カ)あ(カ)ら(イ)我(カ)が(イ)
 子(カ)患(カ)し(イ)や(カ)わ(カ)ら(イ)ん(カ)が(イ)子(カ)の(イ)賜(イ)べ(イ)な(カ)

(チカケ) (チカケ) (チカケ) (チカケ) (三段目) (付テ) (地) (地) (手)

ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
二	二	二	二	二	二	二	二
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
二	二	二	二	二	二	二	二
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
二	二	二	二	二	二	二	二
ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ	ナ
二	二	二	二	二	二	二	二

(シカケ) (シカケ) (チカケ) (チカケ) (チカケ) (チカケ) (チカケ) (チカケ)

イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
二	二	二	二	二	二	二	二
イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
二	二	二	二	二	二	二	二
イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
二	二	二	二	二	二	二	二
イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
二	二	二	二	二	二	二	二

佛(フツ)南(ナン)無(ム)阿(ア)弥(ミ)陀(タ)佛(フツ)と(ト)
 南(ナン)無(ム)阿(ア)弥(ミ)陀(タ)佛(フツ)と(ト)
 南(ナン)無(ム)阿(ア)弥(ミ)陀(タ)佛(フツ)と(ト)
 南(ナン)無(ム)阿(ア)弥(ミ)陀(タ)佛(フツ)と(ト)
 南(ナン)無(ム)阿(ア)弥(ミ)陀(タ)佛(フツ)と(ト)
 南(ナン)無(ム)阿(ア)弥(ミ)陀(タ)佛(フツ)と(ト)
 南(ナン)無(ム)阿(ア)弥(ミ)陀(タ)佛(フツ)と(ト)
 南(ナン)無(ム)阿(ア)弥(ミ)陀(タ)佛(フツ)と(ト)

て。賜(カ)び(イ)た(カ)ま(イ)へ(カ)カル(ル)あ(ア)ま(ア)り(ア)に(ニ)見(ミ)る(ル)も(モ)痛(イ)

はいや。これこそおことの尋ぬる子よ。よ

(カクムス)

(カカケ
ニカケ目)

(カクケ
カクケ)

(カクケ
カクケ)

(カクケ
カクケ)

(カクケ
カクケ)

み	ね	の	は	衆	か	よ
か	が	り	は	じ	の	く
こ	ひ	の	も	う	さ	よ
は	も	か	ち	の	本	く
か	三	か	と	た	ぞ	も
へ	つ	ら	も	め	ん	の
ろ	の	ぞ	は	の	は	を
う	く	あ	め	ち	も	あ
れ	ろ	り	ぐ	ち	そ	ん
し	ま	が	り	な	よ	ず
さ	路	た	あ	れ	り	る
ア	を	ま	ぶ	は	も	は
よ						

●小強
キリ地
ゆめ
シ
シ
シ
シ
シ
シ
シ

よ	ゆ	シ	地	た	く	よ
く	め	シ	シ	ま	く	く
よ	か	シ	シ	た	よ	よ
く	ろ	シ	シ	ま	く	く
も	つ	シ	シ	逢	も	も
の	つ	シ	シ	ふ	の	の
を	か	シ	シ	は	を	を
あ	ま	シ	シ	優	あ	あ
ん	ぼ	シ	シ	ど	ん	ん
ず	ろ	シ	シ	ん	ず	ず
る	し	シ	シ	華	る	る
は	い	シ	シ	の	は	は
	か	シ	シ	の		

くよく寄りて見給へよよ
心強やとくに
シテ
心強やとくに

名告り給ふならば
かやうに
おもへども
ものをあらうらめし
とはは
おもへども

大正十五年六月一日印刷
大正十五年六月五日發行



著者 東京府下豊多摩郡流橋町柏木百四十五番地
田崎延次郎



發行兼印刷者 京都市上京区二条通麩屋町角
檜常之助

京都市上京区二条通麩屋町角
振替口座大阪三六一八番

發行所 京都市神田區錦町壹丁目拾番地
檜大瓜堂書店



東京電話長神田二五二八番
振替口座東京三五五二番

印刷所 京都市淺草區北富坂町拾二番地
青木印刷所

合
合
及
及

年
迄

一
拍

二
拍

三
拍

四
拍

五
拍

六
拍

七
拍

八
拍

九
拍

十
拍

十一
拍

十二
拍

十三
拍

十四
拍

十五
拍

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

+

一

二

三

四

五

六

七

八

九

終

